

アルコール依存症 と 訪問看護

「本人の意思」と「命のリスク」をどう考えるか

本人の意思決定を促し、それを支持するのが精神科訪問看護の基本です。

しかし、ことアルコール依存症のケースに関しては、在宅における自由な生活が命のリスクに直結してしまうという点に、医療者の葛藤があります。

今回、そのような葛藤を経験した事例を2つご紹介いただきます。1つは、残念ながら命を落としてしまったケース。もう1つは、本人の意思により在宅ケアを継続中のケースです。

「本人の意思」と、医療者が最も重視する「命のリスク」、これらの価値観を対立させることなく支援をつなぐヒントを探ります。